

学校図書館支援センター通信 NO.23 7月号

平成21年度(2009年度) 市川市学校図書館支援センター(市川市教育センター)

学校図書館の計画的・効果的な活用を!

先日、各幼稚園、各小・中学校、特別支援学校に『2009 学校図書館年間利用計画』を配付しました。これは、「学校図書館をいつごろ、どの教科等の、どの単元(主題・題材)で活用するのか」を、各学年で検討・計画し、それらを各学校で集約後、市川市全学校分を一覧表にまとめてまとめたものです。

周知の通り、新学習指導要領では、その総則において、新たに、

- ① 児童(生徒)の思考力、判断力、表現力などをはぐむ観点から、基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図る学習活動を重視する。
 - ② 体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習を重視する。
 - ③ 言語環境を整え、各教科等で言語活動の充実を図る。
- ことなどが明記されています。

そして、これらの学習活動を具現化するためにも、すべての教科・領域で「読書センター」「学習・情報センター」としての機能を持つ学校図書館の計画的な活用を図り、児童・生徒の主体的・意欲的な学習活動を充実することが求められています。

市川市では、早くから『学校図書館年間利用計画』を作成することで、学校図書館の計画的な活用を推進してきました。学校図書館を活用した授業実施単元数も年々増え、現在では、小・中学校全体で1年間に約2900単元(1校あたり約51単元)が実施されています。また、学習指導要領でその活用が明記されている国語科・社会科・総合的な学習の時間・特別活動以外にも、生活科・理科・図画工作科・美術科・音楽科・家庭科・体育科・道徳などのあらゆる教科・領域で、教科の特質に応じた積極的な活用がされています。

※ 学校図書館を活用した授業 年間実施単元数



学校図書館年間利用計画

() 内は1校あたりの年間授業実施単元数

学年・教科等	小2生活	小4国語	小6理科	中2国語	中3家庭	小学校全体	中学校全体
平成14年度	90(約2.3)	144(約3.6)	63(約1.6)	9(0.5)	4(約0.3)	1967(約49.1)	199(約11.7)
平成20年度	111(約2.8)	289(約7.4)	92(約2.3)	16(1.0)	12(約0.8)	2592(約64.8)	282(約16.5)

今後、さらに、計画的な活用を推進すると共に、「学習活動で学校図書館をどのように活用し、子どもたちにどのような力を育てるのか。」など、より効果的な活用法についても一層研究を進めたいと考えています。全市で共通理解していくことが、学校図書館活用の高度化を図り、子どもたちの学びを支援していくことにつながっていきます。

※ 「学校図書館を活用した授業」の構想と実践に役立つ各種資料集(下記参照)を各学校図書館に配架しています。是非、授業づくりの参考にしてください。

- 「コピーして使える学校図書館活用資料集」(平成16年、市川市学校図書館教育研究部会)
- 「学校図書館資源共有ネットワーク推進事業 実践報告集」(平成18年 市川市教育センター)
- 「学校図書館活用授業実践事例集」(平成21年 市川市学校図書館支援センター)

など

市川民話の会 ～「聞く」・「話す」の魅力～

市川民話の会は、市川に伝わる民話を次の世代の子どもたちに伝えていきたいという思いから、市内の小中学校の教員を中心に1978年に発足しました。



これまで、『市川の伝承民話』『市川のむかし話』『続市川のむかし話』等の本にまとめてきましたが、その元は、地元の方から聞かせていただいた「生の語り」です。地域の民話は、「本」に閉じ込められた「標本」ではありません。人と人が「聞く」〈話す〉という魅力を、学校図書館からも発信してもらえたらと考えています。そのお手伝いができればうれしく思います。

(市川市文学プラザ 司書 根岸英之)

図書館の窓から

～ひろげよう!図書館の輪・リレー執筆～



週1時間、若草学級の生徒たちの笑顔は私にパワーを与えてくれます。特別支援学級の授業支援を始め

て三年目。担任の久保先生に生徒の様子、学級の雰囲気聞き、「友だちに優しくしてほしい」「こんな動物の存在も知ってほしい」「わらべ歌も覚えてほしい」等、こちらの思いも込めながら、読み聞かせの本を選んでいきます。目を輝かせ、身を乗り出す生徒たちの姿に、読む私も力が入ります。教室に戻ったあと、先生方がそれを授業に生かしたり、日常生活に取り入れたりしてくれることも嬉しい限りです。

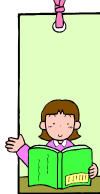
若草学級の子どもたちから本の魅力を改めて教えてもらっています。

(第五中学校 学校図書館員 前原 康子)



若草学級の読み聞かせ

路子の部屋 「調べ学習ワークショップに参加して」



6月後半の土曜日、宮城県仙台市メディアテークで、教員向け学校図書館活用のワークショップが開かれました。私も、小・中学生になったつもりで、図書を使って課題設定をしたり、課題に沿って調べたりしました。バリバリの教師たちが、必死で図書を調べながら、自分なりの課題をつかむため集中して取り組む様子を、講師の玉川大学准教授河西由美子さんも「シーンとして異様だった」と表現されました。子ども役の私は、ひたすら考えながら調べ続け、頭がフル回転していました。本気で「調べる」時の子どもの状態が少し、理解できました。

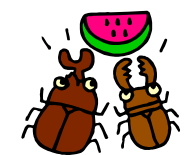
～夏の研修会ご案内～

- 司書教諭研修会 (7月23日 13:00~17:00 文化会館 第5会議室)
今年度から、新設された研修会です。学校図書館活用が重視される中、司書教諭の果たす役割もより一層重要になってきています。学校図書館活用推進リーダーとして、どのような活動をしていくのかを具体的・実践的に学びます。



- ・実践発表 「司書教諭としての活動」(仮題)
発表者 横川 典子 先生 (市川市立曾谷小学校 司書教諭)
- ・グループ研修 「教育課程の展開に寄与する学校図書館づくり」
- ※ 参加者は、各学校の『学校図書館全体計画』(各学校の図書館教育の目標や年間活動計画がわかるもの)を8部印刷して、持参してください。

※ 夏休みといえば、読書感想文!市川市教育センターでは、市川市読書感想文集『いちかわ』(市川市学校図書館部会研究会)を保管しています。昨年度までで第49号を教え、今年度は50号の発行となります。閲覧・貸し出しができますので、感想文の書き方の指導資料などに是非、ご活用ください。



『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。
市川市学校図書館支援センター(市川市教育センター)
〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4 TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352
<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

